

**荒川ふるさと文化館に集まれ!**

**夏休み子ども博物館**

区の歴史や文化を見て、聞いて、体験しよう。

申込み・問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

**親子で楽しむ展示解説**

あらかわの歴史や昔の暮らしをわかりやすく解説します。

▶日時/7月27日(土)午後1時30分～2時30分  
▶会場/1階展示室 ▶対象/区内在住・在学の小学生・中学生と保護者 ▶費用/無料(申込不要)

**勾玉作りにチャレンジ**

縄文時代の人びとの暮らしを勾玉作りから体験しよう。作ったネックレスは、持ち帰れます。

▶日時/7月28日(日)、8月1日(木)午前9時～午後2時(昼休憩あり) ▶講師/八代龍門氏 ▶会場/地下1階視聴覚室 ▶対象/区内在住・在学の小学4年生～中学生  
※親子で参加出来ます。  
▶人数/各日20人(申込順) ▶費用/500円(材料費)

**あらかわ職人道場**

区内には、伝統工芸の職人さんがたくさんいます。職人さんに1日弟子入りして、伝統工芸の技を体験しよう。

① 指物の技でマイ箸を作ろう!  
▶日時/8月4日(日)①午前10時②午前11時③午後1時(①～③のいずれかで、1回60分) ▶講師/渡辺光氏(指物) ▶会場/1階あらかわ伝統工芸ギャラリー ▶対象/区内在住・在学の小学4年生～中学生 ▶人数/各回4人(申込順) ▶費用/500円(材料費)

② つまみかんざしの技でパッチンドめを作ろう!  
▶日時/8月9日(金)①午前10時30分②午前11時20分③午後1時(①～③のいずれかで、1回40分) ▶講師/戸村絹代氏(つまみかんざし) ▶会場/1階あらかわ伝統工芸ギャラリー ▶対象/区内在住・在学の小学3年生～中学生 ▶人数/各回4人(申込順) ▶費用/500円(材料費)

③ 提灯に文字をかこう!  
▶日時/8月17日(土)①午前10時30分②午後1時(①②のいずれかで、1回90分) ▶講師/村田健一郎氏(提灯文字) ▶会場/1階あらかわ伝統工芸ギャラリー ▶対象/区内在住・在学の小学4年生～中学生 ▶人数/各回4人(申込順) ▶費用/500円(材料費)

**俳句を作ろう**

「五・七・五」のリズムに乗って、オリジナルの俳句を作ろう。俳句と一緒に絵を描いて、完成した作品を持ち帰れます。

▶日時/8月6日(火)午前10時～午後3時(昼休憩あり) ▶講師/倉澤節子氏(俳人協会会員)・市橋洋子氏(俳人協会会員) ▶会場/地下1階視聴覚室 ▶対象/区内在住・在学の小・中学生 ▶人数/15人(申込順) ▶費用/無料



**リトル学芸員**

1日学芸員になって、博物館を探検して、資料を調べてみよう!

▶日時/8月20日(火)午前10時～正午 ▶会場/地下1階視聴覚室 ▶対象/区内在住・在学の小・中学生 ▶人数/20人(申込順) ▶費用/無料



**Topics**

**荒川区総合水防訓練を実施しました**

5月25日、都立汐入公園の多目的広場で、荒川区総合水防訓練が実施されました。

当日は、台風の接近に伴う豪雨と隅田川の満潮時が重なり、水位上昇により河川が氾濫したという想定で訓練が行われ、多くの関係者と一緒に第三中学校の防災部の生徒も参加。

排水溝清掃・土のう積み・可搬ポンプによる排水活動など、日頃の排水設備の管理の重要性を確認しました。

◀西川区長に訓練開始の報告

▲可搬ポンプで排水活動を行う第三中学校防災部

**あらかわ 今昔ものがたり**

【ばしょうくんと旅する奥の細道】

**源義経の家来・佐藤兄弟ゆかりの地**

3月に旅立った芭蕉さんは、白河の関を越えて、福島県に入った。今回は、太平洋戦争中に学童疎開で荒川区の子どもたちがお世話になった町・飯坂(福島市飯坂町)での芭蕉さんのお話だよ。

**須賀川の駅に等窮といふ者尋ねて** 4月の終り、芭蕉さんは須賀川(須賀川市)の友達の等窮さんに会いに行き、4・5日泊めてもらった。関を越えた時の様子を語り、昔の人が詠んだ漢詩や和歌を思い浮かべながら句会を開いた。白河の関では一句も詠めなかったことを残念に思い、やっとの思いで句を詠んだんだって。その句が「風流の初めや奥の田植歌」。俳人・等窮さんへの挨拶の句として有名なよ。

**佐藤庄司の旧跡** 5月2日、阿武隈川の「月の輪の渡し」を渡り、瀬の上(福島市瀬上町)に着した。近くの飯塚の里の鯖野というところに、平安末期の武将・佐藤庄司の館跡があると、このたびは訪ねたんだ。庄司は奥州藤原氏三代目・藤原秀衡の家来で、信夫郡・伊達郡(福島県)

**「飯塚の里」**

お話を治めていた。この息子の継信・忠信兄弟が、秀衡の命令を受け牛若丸こと源義経に従って家来となり、力の限り戦って二人とも亡くなってしまったんだ。飯塚町にある佐藤一族の菩提寺の医王寺に行くと兄弟のお墓がある。源義経のファンだった芭蕉さんは、縁の地に立ち寄る度に涙を流したんだよ。

**佐藤兄弟のお嫁さん** 佐藤兄弟には、しっかり者のお嫁さんがいた。お嫁さんたちには、涙を誘うエピソードがある。兄弟が戦死して悲しみにくれるお義母さんのために、鎧兜を身に付けて兄弟が戻ってきた姿を演じて慰めたんだってさ。この姿を写した像を見て芭蕉さんは哀れに思い、また涙を流したんだよ。

**笈も太刀も五月に飾れ紙幟**

医王寺には、寺宝として義経の太刀や弁慶の笈(仏像・お経等を)を入れて背負う道具)があっただって。今度、芭蕉さんが憧れた昔の武将について調べてみよう。

「龍頭奥之細道」(荒川ふるさと文化館蔵)